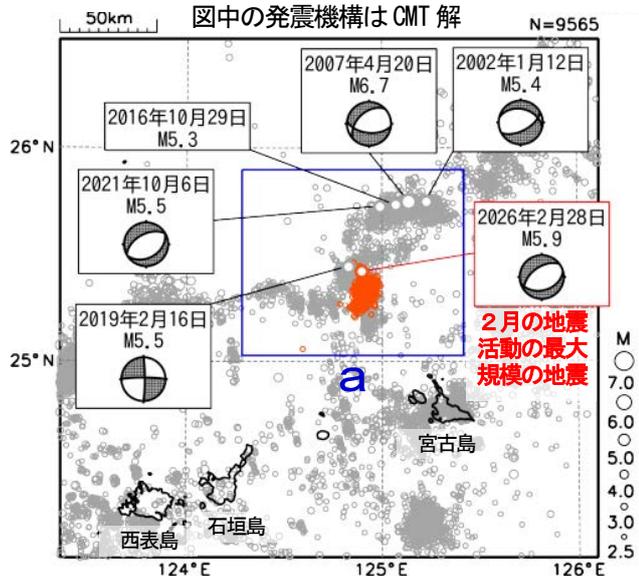


## 宮古島北西沖の地震活動

震央分布図  
(2000年7月1日～2026年2月28日、  
深さ0km～50km、 $M \geq 2.5$ )  
2026年2月26日～2月28日の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解

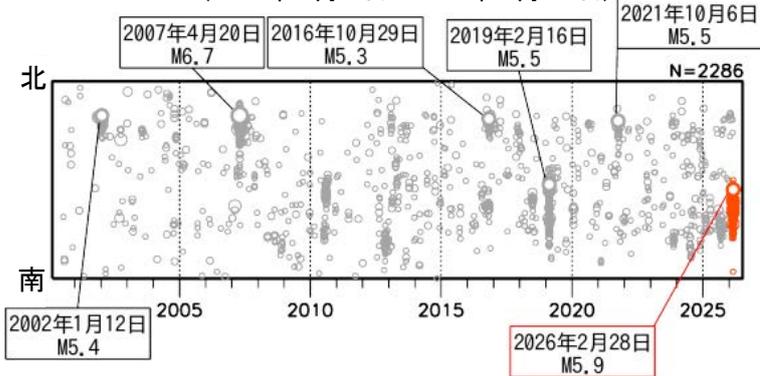


宮古島北西沖では、2026年2月26日から地震活動が活発となっている。この地震活動により、2月26日から2月28日までに震度1以上を観測する地震が17回（震度2：6回、震度1：11回）発生した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。このうち最大規模の地震は、28日10時49分に発生したM5.9の地震（最大震度2）で、発震機構（CMT解）は、北西－南東方向に張力軸を持つ正断層型であった。

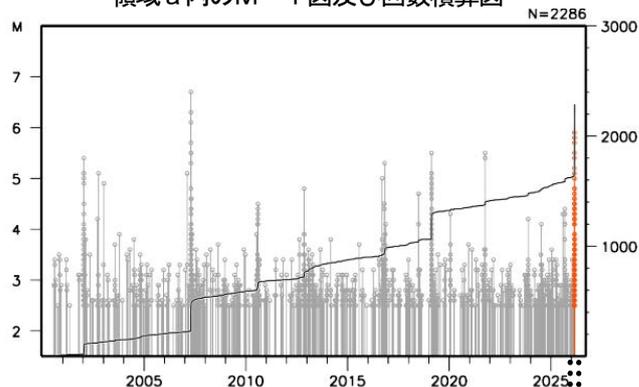
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M5.0以上の地震活動が時々見られる。2007年4月20日には、M6.7の地震（最大震度3）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震がまれに見られる。1938年6月10日にはM7.2の地震（最大震度4）が発生しており、宮古島平良港に地震後10分で津波が襲来して高さ1.5m（目視による最大の高さ）、栈橋の流出などの被害があった（被害は、日本被害地震総覧による）。

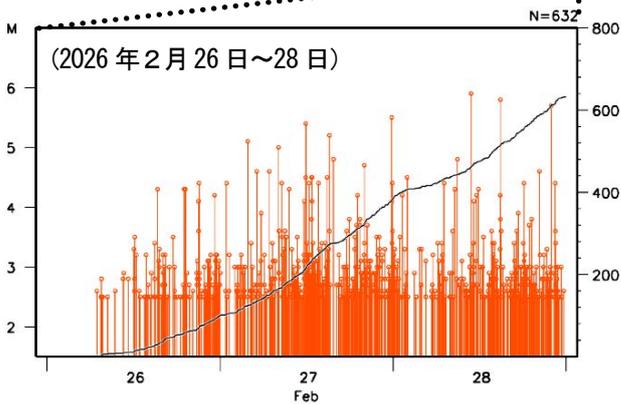
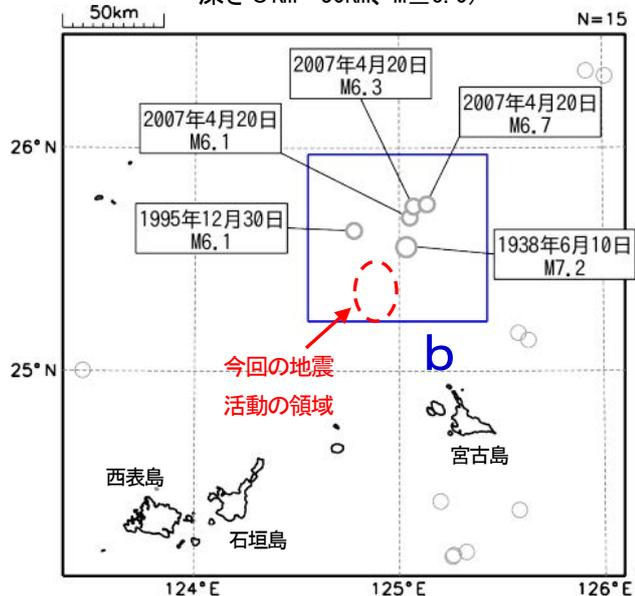
領域a内の時空間分布図（南北投影）  
(2000年7月1日～2026年2月28日)



領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図  
(1919年1月1日～2026年2月28日、  
深さ0km～50km、 $M \geq 6.0$ )



領域b内のM-T図

